A6 ユーザーマニュアル

リリース **v1.1.1**

2026-09-02

目次

1 システム設定 **4**
1.1 ファームウェアバージョンの読み取り 4
1.2 工場出荷時設定に戻す 4
1.3 動作モード 4

2 電源管理 **6**
2.1 スリープ時間を読み取る 6
2.2 スリープ時間を設定する 6
2.3 バーコードリーダーのバッテリー残量を取得する 8

3 通知設定 **8**
3.1 ブザー制御 8
3.2 振動モーター制御 9
3.3 ブザー音の定義 10
3.4 インジケーターライトの定義 10

4 有線モード **11**
4.1 USB 伝送方式 11
4.2 USB キーボードの送信速度 12
4.3 USB HID マルチキー送信設定 13

5 無線モード **13**
5.1 インターフェイス設定の読み取り 13
5.2 無線伝送方式 14
5.3 2.4G ペアリング 14
5.4 受信機の動作モード 14
5.5 2.4G 送信キャッシュ 16

6 Bluetooth モード **17**
6.1 インターフェイス設定の読み取り 17
6.2 Bluetooth 送信方法 17
6.3 Bluetooth 動作モード 17
6.4 Bluetooth 名の変更 18
6.5 Bluetooth HID ペアリングをクリアする 19
6.6 システムキーボードの機能 19
6.7 Bluetooth と 2.4G を 8 秒間押し続けると切り替わります。 20
6.8 Bluetooth キーボードの送信速度 20
6.9 Bluetooth 接続ステータスがスリープ設定にならない 21

7 キーボード設定 **22**
7.1 HID Keyboard General Setting 22
7.2 キーボードの言語設定 29

8 キーボード言語 **29**
8.1 現在のキーボードレイアウトを読み取る 29

9 データ編集 **35**
9.1 標準データ編集設定 35
9.2 拡張データ編集設定 42
9.3 端末文字設定 44

9.4 GS1 AI フィールドブラケット設定 45

10 読取モード **47**
10.1 バーコード読取モード 47

11 読取モジュール設定 **49**
11.1 トリガー設定 49
11.2 エンジン Code ID 58
11.3 エンジン出力フォーマット 61
11.4 バーコード設定 64
11.5 読取モジュール設定コード 119

12 付録 **121**
12.1 文字検索テーブル 121

1 システム設定

1.1 ファームウェアバージョンの読み取り

ファームウェアバージョンの読み取り

1.2 工場出荷時設定に戻す

> **注釈**
>
> 「カスタム既定値の書き込み」を実行済みの場合、「既定値に戻す」を実行すると、そのカスタム既定値に戻ります。それ以外の場合は、工場出荷時の既定値に戻ります。

> **重要**
>
> 「工場出荷時の既定値を設定」を実行すると、すべてのカスタム既定値が消去され、工場出荷時の既定値に戻ります。

カスタム既定設定に戻す

カスタムの既定値を書き込む

工場出荷時の既定値を設定

1.3 動作モード

注釈

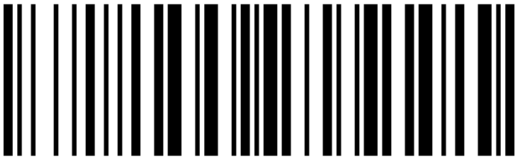
データのアップロードプロセス中に、「データアップロード」コマンドを再度スキャンすると、現在のアップロードはキャンセルまたは停止されます。

注釈

無線送信モードで自動保存を有効にすると、送信に失敗したバーコードが自動的に保存され、保存されたデータは「データアップロード」で読み込むことができます。

* 通常モード

保存モード



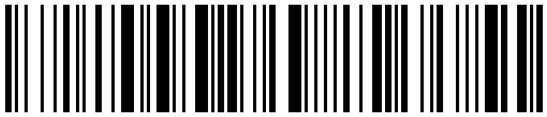
保存データをアップロード

保存済みバーコードの総数を読み取る

アップロード後に保存データを消去

ストレージ使用量を読み取る

保存済みバーコードを消去



* 自動保存モードを無効にする

自動保存モードを有効にする

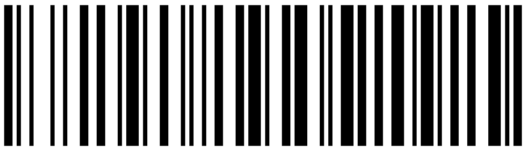
2 電源管理

2.1 スリープ時間を読み取る

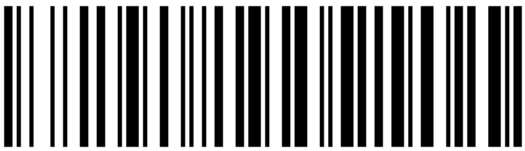
スリープ時間を読み取る

2.2 スリープ時間を設定する

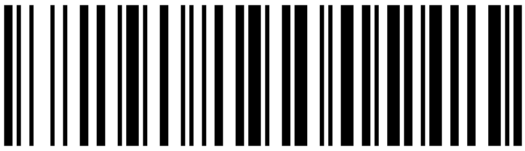
今すぐ冬眠します



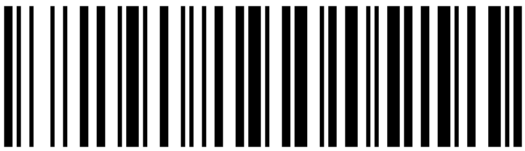
1 分後に寝る



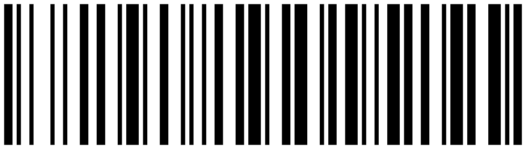
3 分後にスリープ (既定)



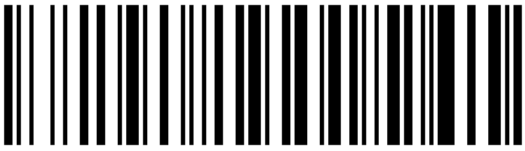
5 分後に寝る



10 分後に寝る

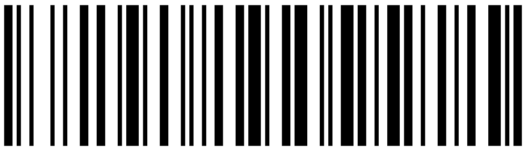


30 分後に寝る



1 時間後に寝る

2 時間後に寝る



決して眠らないでください

2.3 バーコードリーダーのバッテリー残量を取得する

バッテリー残量を取得する

3 通知設定

3.1 ブザー制御

ミュート

* 大音量

中程度の音量

小さい音量

* 高音

低音

* SDK 音声応答が無効になっています

SDK 音声応答の有効化

ベース接続ブザー通知の有効/無効

3.2 振動モーター制御

> **注釈**
>
> 振動モーターはビープ音とともに動作しますが、すべてのモデルがこの機能をサポートしているわけではありません。

無効にする

有効にする

3.3 ブザー音の定義

タイプ	音	意味	試聴
ビープ	ワントーン（ツートーン）	ストレージモードの読み取り。シャットダウンプロンプト。	**ストレージモードでの読み取り** storage-mode.m4a **電源オフ** shutdown.m4a
ビープ	1 音（3 音）	電源投入時のプロンプト。設定は成功しました。アップロードモード転送完了プロンプト。	**電源オン** startup.m4a **設定成功** wireless-setting.m4a
ビープ	短い音（同じ音）	バーコード読み取り成功プロンプト。	**バーコード読み取り成功** one-beeps.m4a
ビープ	30 秒間の連続した短いトーン	2.4G ペアリングモードは、レシーバーが挿入されるのを待ちます。ペアリングが成功すると停止します。	**2.4G ペアリング** pair2.4G.m4a
アラーム音	2 トーン（同トーン）	読み取り中の電力不足アラーム。	**バッテリー残量低下** two-beeps.m4a
アラーム音	3 音（同音）	インベントリモードストレージエラーまたはストレージ容量超過アラーム。	**ストレージエラーまたは容量超過** three-beeps.m4a
アラーム音	送信失敗音	バーコードの送信が失敗した場合にアラームを鳴らします。	まだ音声がありません
アラーム音	5 音（同音）	バッテリー残量が少ないと起動障害が発生します。	**バッテリー残量低下による起動失敗** five-beeps.m4a

3.4 インジケーターライトの定義

インジケーターライト	州
赤信号/緑信号	充電中は赤色のライトが点灯し、緑色のライトが消灯します。完全に充電されると、赤色のライトが消え、緑色のライトが点灯します。
ブルーライト	ブザー動作に続き、ブザーが鳴ると点灯、鳴らないと消灯します。Bluetooth モードをサポートするモデルは、Bluetooth 接続ステータスを示すためにも使用されます。

4 有線モード

注釈

有線伝送をサポートするバーコードリーダーにのみ適用されます。

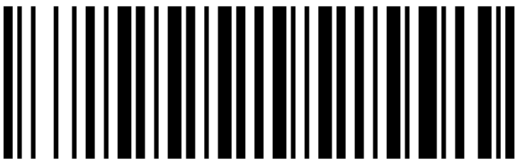
4.1 USB 伝送方式

* USB キーボードモード

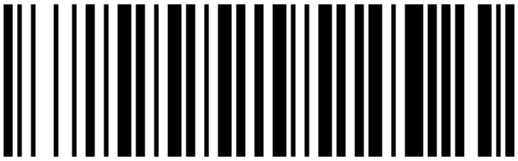
USB 仮想シリアルポートモード

注釈

自動インターフェイス選択を有効にすると、デバイスは有線と無線の間で自動的に切り替わります。USB ケーブルが接続されている場合、有線モードが最初に使用されます。USB ケーブルが接続されていない場合、または USB が利用できない場合、バーコードリーダーは 2.4G モードで動作します。一部のモデルではこの機能をサポートしていない場合があります。



* 有線/無線自動選択が有効です

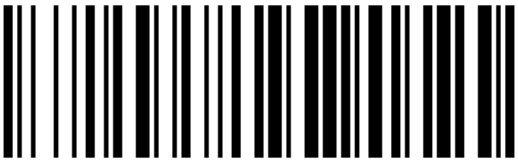


有線/無線自動選択無効

4.2 USB キーボードの送信速度

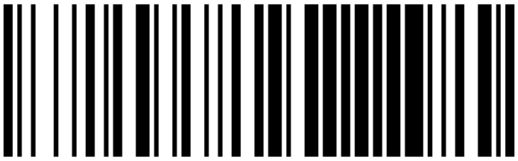
注釈

この設定は、RF、超長いバーコードの Bluetooth 送信、およびストレージデータのアップロードの速度にも影響します。

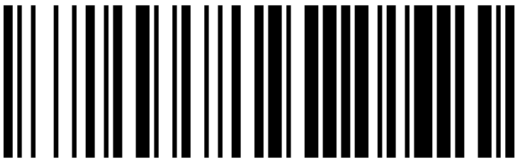


* 最高速度

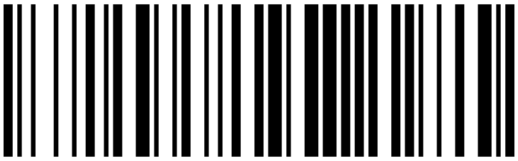
トップスピード



中速



中速



キーボードの読み取り速度

キーボードの読み取り速度

4.3 USB HID マルチキー送信設定

> **注釈**
>
> このセクションの設定は、Windows システムにのみ適用されます。

USB HID マルチキー送信有効

* USB HID マルチキー送信は無効です

5 無線モード

> **注釈**
>
> 2.4G 送信をサポートするバーコードリーダーにのみ適用されます。

5.1 インターフェイス設定の読み取り

現在のインターフェース設定

5.2 無線伝送方式

注釈

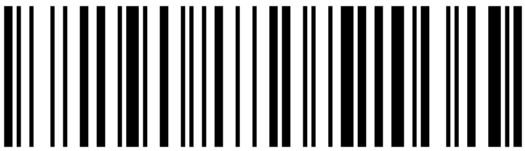
青いライトは常に点灯または点滅し、現在のモードが Bluetooth であることを示します。青いライトが消えている場合は、現在のモードが 2.4G モードまたは USB 有線モードであることを示します。

2.4G 送信モード

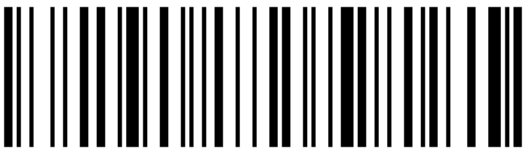
5.3 2.4G ペアリング

重要

ワイヤレス 2.4G モードでのみ有効です。



1 対 1 のペアリング

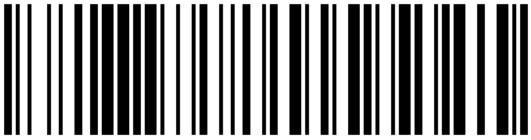


1 対多ペアリング

5.4 受信機の動作モード

注釈

コンポジットデバイスモードは、FWVerL 以降の受信機でのみ使用できます。`ReceiverAddress.exe` を使用してペアリングバーコードを生成し、それをスキャンしてペアリングを完了することもできます。



複合デバイスとしての受信機

仮想シリアルポートとしてのレシーバー

注釈

このモードでは、仮想シリアルポートドライバーをインストールする必要があります。

キーボードとしての受信機

受信機キーボードの通信速度

注釈

このセクションの手順は、FWVerL 以降の受信機にのみ適用されます。バーコードリーダーと受信機の送信速度が一致している必要があります。一致しないと、長いバーコードを送信するときにエラーが発生する可能性があります。

重要

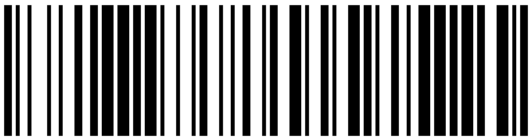
このコマンドはワイヤレス 2.4G モードでのみ有効で、受信機は正常に接続されています。

キーボードの読み取り速度

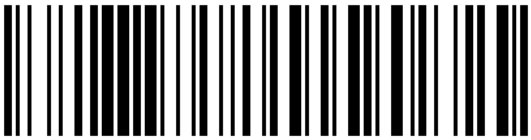
例

KB SP=2,4 は、USB のキーボード速度が 2ms、受信機のキーボード速度が 4ms であることを意味します。

レシーバーキーボード高速



レシーバーキーボード中速



レシーバーキーボード低速

注釈

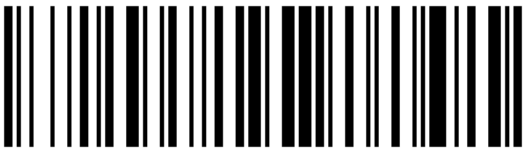
無線 2.4G モードでのみ有効で、受信側は正常に受信します。

5.5 2.4G 送信キャッシュ

注釈

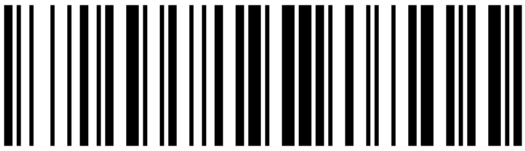
このコマンドは、この機能をサポートする一部のバーコードリーダーにのみ適用されます。設定コードをスキャンした後、2 回の短いビープ音が無効を示し、1 回の 3 音ビープ音が有効を示します。

通常のバーコードをスキャンする場合、バーコードのデータ量が多くスキャン間隔が短く、データのアップロードが間に合わない場合に、この設定コードを使用してデータのキャッシュを有効または無効にすることができます。



SRAM キャッシュの有効/無効

通常モードでは、データキャッシュを有効にした後、デバイスが一時的に通信距離を離れてオフライン状態になった場合、この設定を使用して、キャッシュされたデータをアップロードする前に接続を待つか、キャッシュされたデータをクリアするかを選択できます。



オフラインキャッシュの有効/無効

6 Bluetooth モード

注釈

Bluetooth 機能を備えた RF+BT バーコードリーダーにのみ適用されます。

6.1 インターフェイス設定の読み取り

現在のインターフェース設定

6.2 Bluetooth 送信方法

注釈

青いライトは常に点灯または点滅し、現在のモードが Bluetooth であることを示します。青いライトが消えている場合は、現在のモードが 2.4G モードまたは USB 有線モードであることを示します。

Bluetooth 送信

6.3 Bluetooth 動作モード

注釈

Bluetooth モードでのみ有効です。

注釈

Bluetooth 動作モードを切り替える前に、ホストとバーコードリーダーの両端のペアリング情報をクリアする必要があります。

Bluetooth HID キーボード (既定)

Bluetooth SPP シリアルポート

Bluetooth BLE シリアルポート

Bluetooth 基本送信モード

注釈

すでにペアリングされている Bluetooth ベースとのペアリングに適しています。ベースのバーコードが破損している場合は、小さなツール BluetoothAddress.exe を使用してペアリングバーコードを生成することもできます。

6.4 Bluetooth 名の変更

新しい Bluetooth 名を入力したら、生成された QR コードをスキャンして設定を完了します。ホストが変更後に古いペアリング記録を保存している場合は、まず古いペアリングを削除して、接続を再度検索してください。

HTML の対話型ツールを使用できない場合は、このセクションの説明に従ってプレースホルダーを置き換え、コマンドを確認してください。

```
AT+NAME=<bluetooth-name>
```

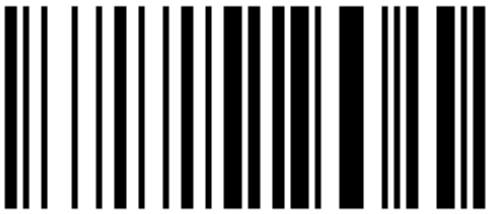
6.5 Bluetooth HID ペアリングをクリアする

Bluetooth 送信モードで「ペアリングのクリア」をスキャンした後、バーコードリーダーは現在ペアリングされているデバイスを切断し、ペアリングリストをクリアしてから、新しいデバイスのペアリングを待ちます。過去にペアリングしたデバイスを削除し、再度ペアリングする必要があります。

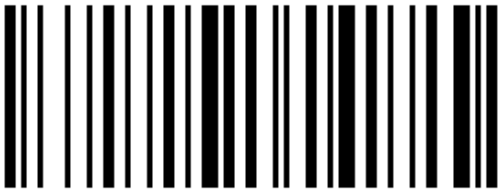
Bluetooth ペアリングをクリアする

6.6 システムキーボードの機能

iOS システムのポップアップキーボード機能



iOS キーボードのポップアップ/非表示



トリガーボタンを 4 秒間長押しすると、iOS キーボードスイッチがポップアップします。

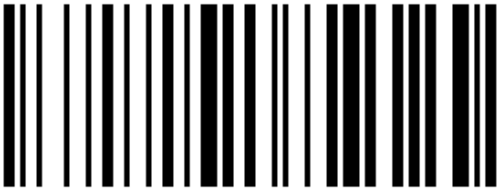
トリガーボタンをダブルクリックして、iOS キーボードスイッチをポップアップ表示します。

送信後に iOS キーボードスイッチをポップアップ表示する

Windows Caps Lock の検出

注釈

このコマンドは、一部の Bluetooth バーコードリーダーにのみ適用されます。設定コードをスキャンした後、2 回の短いビープ音が無効を示し、1 回の 3 音ビープ音が有効を示します。

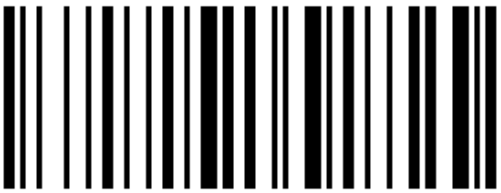


Windows Caps Lock 検出の有効/無効

6.7 Bluetooth と 2.4G を 8 秒間押し続けると切り替わります。

注釈

このコマンドは一部の RF+BT バーコードリーダー (DS、C、RT) にのみ適用されます。有効にした後、トリガーボタンを 8 秒以上押し続け、放すと RF/BT が切り替わります。16 秒以上押し続けると、バーコードリーダーがシャットダウンし、モードは切り替わりません。設定コードをスキャンした後、2 回の短いビープ音が無効を示し、1 回の 3 音ビープ音が有効を示します。



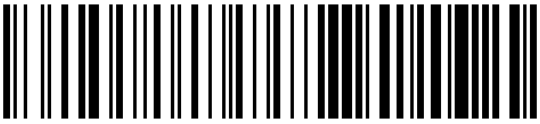
トリガーボタンを 8 秒間押し続けると、RF/BT スイッチが切り替わります。

6.8 Bluetooth キーボードの送信速度

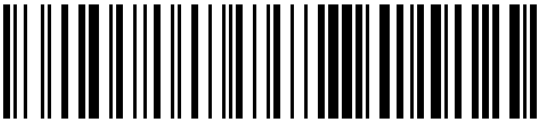
注釈

Bluetooth モードでのみ有効です。

Bluetooth HID 遅延の読み取り



高速（2ms）



高速（6ms）

* 中速 (10 ミリ秒)

中速（18ms）

低速 (25ms)

低速 (30ms)

6.9 Bluetooth 接続ステータスがスリープ設定にならない

注釈

設定コードをスキャンした後、2 回の短いビープ音が無効を示し、1 回の 3 音ビープ音が有効を示します。

Bluetooth 接続ステータス非スリープの有効/無効

7 キーボード設定

7.1 HID Keyboard General Setting

HID 共通設定

> **注釈**
>
> 本項の HID 共通設定は、USB キーボード、RF 2.4G キーボード、および Bluetooth HID キーボードの各モードに適用されます。

Ctrl キーの組み合わせの設定

* 結合キーオフ

Ctrl+ Key Config1

Alt+ Key Config2

Normal-Key Config3

Ctrl+ Key Config4

Alt+ Key Config5

> **注釈**
>
> only for ASCII <0x20 chars, Alt+ key only for Windows system.

ケースの設定

普通

スワップケース

すべて大文字

すべて小文字

キーボード言語を ALT または TH に設定している場合、大文字/小文字変換は適用されません。

Num Lock の設定

Num Lock が無効になりました

Num Lock が有効になりました

※ 受信端末が携帯電話の場合、Num Lock の設定をオフにしておかないと番号が表示されません。

文字セット設定を入力します

注釈

この設定は、特定のモジュールの 2D バーコードリーダーにのみ適用され、2D モジュールの出力文字セットと一致します。

現在の文字セット設定を読み取る

自動

GBK / BIG5 / HANGUL / SJIS

ISO/IEC 8859

UTF8（ワード）

UTF8 (送信)

ノーマルモード

例証します:

モデル	該当するシナリオ	読取モジュールの出力文字セット	限界
Auto	入力文字セットを UTF8 または ISO/IEC 8859 として自動的に選択します。Word または Txt 出力は、最後の UTF8 設定に基づいています。	プリミティブ型	なし
GBK	Windows のメモ帳、Excel の中国語入力。	GBK (GB2312) またはオリジナルのタイプ	Windows システムのみに適用されます。
UTF8 (Word)	Word、QQ 中国語入力。	UTF8 またはプリミティブ型	Windows システムのみに適用されます。
ISO/IEC 8859	ヨーロッパのシングルバイト特殊文字 (>= C0H)。FR、GE、TR、PT、ES、CS、IT、UK、HU、SK に適しています。	プリミティブ型	リストにない言語はカスタマイズで追加する必要があります。
UTF8 (Txt)	Windows のメモ帳で特殊文字を入力するには、Unicode プラグインをインストールする必要があります。	UTF8 またはプリミティブ型	Windows システムのみに適用されます。
Normal	FR、GE、TR、PT、ES、CS、IT、UK、HU、SK キーボードの文字に適した多言語特殊文字。	UTF8 またはプリミティブ型	リストにない言語はカスタマイズで追加する必要があります。

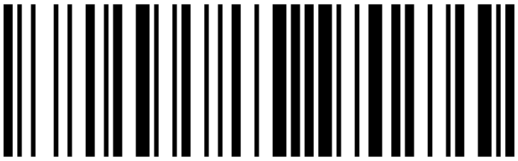
受信デバイスの選択

注釈

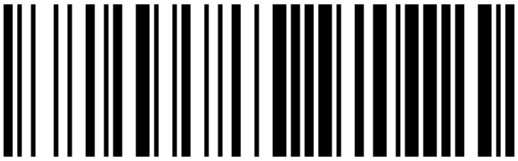
本項では、ホストデバイスごとに ASCII 文字（0x20～0x7F）を入力する方法を設定します。キーボードレイアウト設定と組み合わせて使用してください。

現在の受信デバイス設定を読み取る

Windows デバイス



iPhone/iPad/Mac デバイス



Android デバイス

*IOS/MAC デバイスは現在有効です: FR、DE、TR、PT、ES、CS、IT、UK、HU、SK。ドキュメント「バーコードスキャナー用の MAC iPhone iPad キーボードレイアウト.docx」を参照してください。

※Android 端末には Google Gboard 入力方式を一律にインストールすることを推奨します。「バーコードスキャナー用 Android デバイスのキーボードレイアウト.docx」ドキュメントを参照してください。

7.2 キーボードの言語設定

> **参考**
>
> キーボード言語設定は独立したページに分割されています: キーボード言語設定。

8 キーボード言語

8.1 現在のキーボードレイアウトを読み取る

現在のキーボードレイアウトを読み取る

L1 *ENUSA アメリカ EN キー

* 米国英語キーボード

L2 FR フランスフランス語キー

フランス語フランス語キーボード

L3 DE ドイツドイツキー

ドイツ語ドイツ語キーボード

L4 ITitaly イタリアキー

イタリア語キーボード

L5 PT ポルトガルキー

ポルトガル語キーボード

L6 ES スペインスペインキー

スペイン語キーボード

L7 TR トゥルキエトルコキー

トルコ語 Q キーボード

トルコ語 F キーボード

L8 ENUK 英国キー

イギリス英語キーボード

L9 CS チェコ語チェコ語キー

チェコ語キーボード

チェコ語の標準キーボード

L10 HU ハンガリーハンガリーキー

ハンガリー語キーボード

L11 FR ベルギー (フランス語) ベルギー FR キー

ベルギーフランス語キーボード

L12 PT ブラジル (ポルトガル語) ブラジル PT キー

ブラジル系ポルトガル語キーボード

L13 FR カナダ語フランス語 (繁体字) カナダ語 FR キー

カナダフランス語 (繁体字) キーボード

L14 HR クロアチアキー

クロアチア語キーボード

L15 SK スロバキアスロバキアキー

スロバキア語 QWERTY キーボード

スロバキア語キーボード

L16 DA デンマークデンマークキー

デンマーク語キーボード

L17 FIFINLAND キー

フィンランド語キーボード

L18 ES ラテンアメリカ (スペイン語) ラテンアメリカ ES キー

ラテンアメリカスペイン語キーボード

L19 NL オランダオランダキー

オランダ語キーボード

L20 ノルウェーノルウェーキー

ノルウェー語キーボード

L21 PL ポーランドポーランドキー

ポーランド語キーボード

L22 SR セルビア (ラテン) セルビアキー

セルビア語ラテン語キーボード

L23 SL スロベニアキー

スロベニア語キーボード

L24 SVSweden スウェーデンキー

スウェーデン語キーボード

L25 DE スイス (ドイツ語) スイス DE キー

スイスドイツ語キーボード

L26 JP 日本语日本語キー

日本語キーボード

L27 TH タイタイキー

> **注釈**
>
> タイ語キーボードを使用する場合、読取モジュールも TH 出力に設定する必要があります。

タイ語キーボード

参考

参照ファイル: RF2.4G、蓝牙设置 _ 中文、泰语、韩语.docx。

L28 ALT インターナショナルキーボード ALT グローバルキー

注釈

ALT インターナショナルキーボードは Windows システムにのみ適用され、ホストのキーボード設定の影響を受けませんが、転送速度が低下します。

ALT インターナショナルキーボード

L29 ALT シングルバイト特殊キーボード ALT シングルバイト特殊キー

ALT 半角特殊文字キーボード

注釈

このセクションに記載されていない言語をサポートするにはカスタマイズする必要があります。

9 データ編集

9.1 標準データ編集設定

このセクションでは、設定コードを使用して、プレフィックス、サフィックス、非表示文字などの一般的な出力ルールを設定する方法を説明します。

プレフィックス、サフィックス、隠し文字の設定

最大 10 個のプレフィックスまたは 10 個のサフィックスを出力データに追加できます。設定する場合は、ASCII 値に対応する 2 桁の 16 進数の設定コード (つまり 2 つのバーコード) をスキャンしてください。

参考

文字値については、ASCII ファンクションキー文字比較表 およびASCII 文字比較表 を参照してください。値の入力が必要なパラメータについては、数字設定コード をスキャンしてください。具体的な手順については、「プレフィックスまたはサフィックスの追加ステップ」を参照してください。

バーコードの最初、中間、または最後の文字を非表示にするように設定できます。対応する非表示設定コードをスキャンした後、非表示にする文字の長さに対応する 2 桁の 16 進数の設定コードをスキャンします (00 ～FF、たとえば 4 文字を非表示にする場合は、0、4 を順にスキャンします)。

参考

文字を非表示にするプロセスについては、バーコードの最初/中間/末尾の文字を非表示にする手順 を参照してください。

オペコード

プレフィックスを追加する

接尾語を追加

すべてのプレフィックスをクリアする

すべてのサフィックスをクリア

最初のバーコードの文字数を非表示にする

バーコード中央の開始桁を非表示にします

バーコードの途中の文字数を非表示にする

バーコードの末尾の文字数を非表示にする

数字設定コード

指定値が必要なパラメータについては、対応する数字設定コードをスキャンしてください。

数字設定コード 0

数字設定コード 1

数字設定コード 2

数字設定コード 3

数字設定コード 4

数字設定コード 5

数字設定コード 6

数字設定コード 7

数字設定コード 8

数字設定コード 9

数字設定コード A

数字設定コード B

数字設定コード C

数字設定コード D

数字設定コード E

数字設定コード F

出力形式の設定

出力データ形式を変更する必要がある場合は、以下の対応する設定コードをスキャンしてください。

既定の出力形式

出力サフィックスを許可する

出力プレフィックスを許可する

バーコードヘッダーコンテンツを非表示にすることができます

バーコードの中央のコンテンツを非表示にすることができます

バーコード末尾のコンテンツを非表示にすることができます

手順例

プレフィックスまたはサフィックスの追加ステップ

1. プレフィックスとサフィックスの出力が有効になっていない場合は、まず対応する出力フォーマットコードをスキャンしてください。
2. 新しい文字は、既存のプレフィックスまたはサフィックスの後に追加されます。既存のプレフィックス/サフィックスを破棄する場合は、先に「すべてのプレフィックス/サフィックスを消去」設定コードを読み取り、その後で設定し直してください。
3. 「プレフィックスの追加」または「サフィックスの追加」設定コードをスキャンします。
4. ASCII ファンクションキー文字比較表 またはASCII 文字比較表 に基づいて、入力するプレフィックスまたはサフィックスに対応する 16 進値を決定します。
5. 対応する 2 桁の 16 進数設定コードをスキャンします。
6. 文字を追加し続ける場合は、手順 4 と 5 を繰り返します。

例

プレフィックスとして `Ctrl+A` を追加する必要がある場合は、「プレフィックスの追加」「9」「7」「4」「1」を順にスキャンします。

例

`Ctrl+Alt+A` をサフィックスとして追加する必要がある場合は、「サフィックスの追加」「9」「7」「9」「9」「4」「1」を順にスキャンします。

バーコードの最初/中間/末尾の文字を非表示にする手順

1. バーコードのヘッダー、中間の開始ビット、中間の長さ、または末尾の文字を非表示にする設定コードをスキャンします。
2. 非表示にする文字の長さに対応する 16 進値を決定します (たとえば、4 文字を非表示にする場合は、`0`、`4` をスキャンします。12 文字を非表示にする場合は、`0`、`C` をスキャンします)。

3. 対応する 2 桁の 16 進数設定コードをスキャンします。
4. 出力書式設定コードを通じて隠し文字機能を有効または無効にします。

9.2 拡張データ編集設定

このセクションでは、完全なコマンドからデータ編集設定コードを一度に生成できます。一括設定、リモートでのシリアルコマンド送信、または文字置換が必要な場合に適しています。

ワンコード設定オンライン生成ツール

> **注釈**
>
> オンライン生成ツールは HTML マニュアルでのみ表示されます。設定コードを生成した後、生成されたバーコードを直接スキャンして設定を完了できます。また、下記のコマンド形式でシリアルコマンドとして送信することもできます。

プレフィックスを追加する

HTML の対話型ツールを使用できない場合は、このセクションの説明に従ってプレースホルダーを置き換え、コマンドを確認してください。

```
$DATA#20<length-hex><content>#
```

接尾語を追加

HTML の対話型ツールを使用できない場合は、このセクションの説明に従ってプレースホルダーを置き換え、コマンドを確認してください。

```
$DATA#10<length-hex><content>#
```

バーコード先頭文字を非表示

HTML の対話型ツールを使用できない場合は、このセクションの説明に従ってプレースホルダーを置き換え、コマンドを確認してください。

```
$DATA#50<length-hex>#
```

バーコード中央文字を非表示

HTML の対話型ツールを使用できない場合は、このセクションの説明に従ってプレースホルダーを置き換え、コマンドを確認してください。

```
$DATA#40<position-hex><length-hex>#
```

バーコード末尾文字を非表示

HTML の対話型ツールを使用できない場合は、このセクションの説明に従ってプレースホルダーを置き換え、コマンドを確認してください。

```
$DATA#30<length-hex>#
```

文字置換

HTML の対話型ツールを使用できない場合は、このセクションの説明に従ってプレースホルダーを置き換え、コマンドを確認してください。

$DATA#70<source-length-hex><source><target-length-hex><target>#

ワンコード設定コマンド形式

編集形式:

```
$DATA#ncllxx#
```

n

1 サフィックス。2 プレフィックス。3 は、バーコードの末尾の内容を非表示にします。4 は、バーコードの中央のコンテンツを非表示にします。5 は、バーコードの最初のコンテンツを非表示にします。7 は文字を置き換えます。

c

Code ID は、現在、すべてのシンボル体系を示す 0 のみをサポートしています。

ll

長さ、16 進値: 接頭辞と接尾辞 01~0A、01~FF を非表示、01~05 を置き換えます。

xx

ASCII 値。16 進数は、\x に 2 文字を加えたもので表現でき、文字の範囲は 0~9、A~F です。

表 1: ワンコード設定例

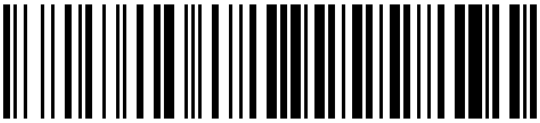
注文	意味
$DATA#1005abcd\x03#	0x05 サフィックスを追加します: abcd + 0x03。
$DATA#200ANETUM12345#	0x0A プレフィックス NETUM12345 を追加します。
$DATA#3008#	バーコードの末尾にある 0x08 文字を非表示にします。
$DATA#40050A#	バーコード内の 0x05 文字の後の 0x0A 文字を非表示にします。
$DATA#5011#	バーコードヘッダー 0x11 バイトを非表示にします。
$DATA#7001\x1D02GS#	GS (0x1D) 文字を GS に置き換えます。
$DATA#7002NT01Z#	NT を Z に置き換えます。

文字置換操作

形式: $DATA#70 + 置換対象文字列の長さ + 置換対象文字列 + 置換後データの長さ + 置換後データ #

置換される文字と置換される文字の長さの合計は 6 以下で、1 ～6 文字が 5 ～0 文字に置換されることがサポートされます。

置換設定の読み取り



置換設定をクリアする

例

$DATA#7001\x1D02GS# は、表示不可能な文字 GS (0x1D) を GS に置き換えて表示することを意味します。

文字置換操作: GS からテキスト GS へ

例

$DATA#7001\x0A01\x0D# は、LF (0x0A) を CR (0x0D) に置き換えることを意味します。

文字置換操作: LF から CR

例

$DATA#7006ABCDEF00# は、文字列 ABCDEF を何も置き換えない、つまり表示しないことを意味します。

9.3 端末文字設定

注釈

この終端文字は、デコードモジュールのサフィックスやワイヤレスサフィックスから独立しているため、デコードモジュールにサフィックスがない場合でも、迅速な設定が容易になります。

なし (既定)

CR を入力してください

タブ文字 TAB

キャリッジリターンとラインフィード CRLF

改行 LF

9.4 GS1 AI フィールドブラケット設定

注釈

一部の AI フィールドのみが適用され、特別なバージョンのサポートが必要です。

生の形式 (既定)

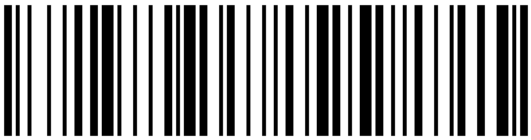
括弧を追加する

括弧を追加し、CR で区切ります。

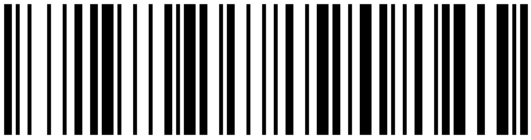
括弧を追加し、TAB で区切ります

10 読取モード

10.1 バーコード読取モード



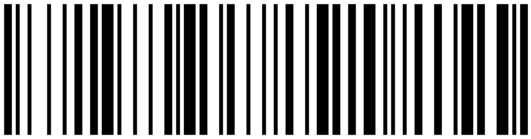
キースキャンモード（既定）



連続スキャンモード

注釈

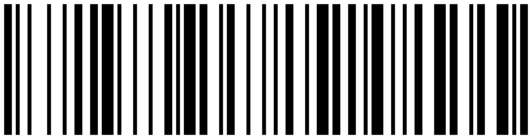
連続スキャンモードは、宅配便などでバーコードを連続して読み取る用途に適しています。Trigger ボタンを 1 回押すと、読取を開始または停止します。



キーパルススキャンモード

注釈

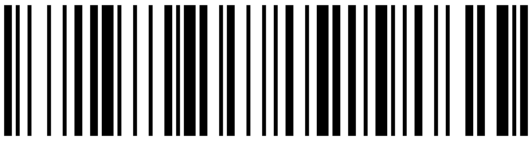
キーレベルの変化を検出すると読み取りを開始し（約 30ms 保持）、再度キーレベルの変化を検出すると読み取りを終了します。読み取りが成功するかタイムアウトになると、読み取りは終了します。



ホストトリガーモード（一部のカスタム機種のみ）

注釈

ホストトリガーモードは、一部のカスタム機種でのみ使用できます。

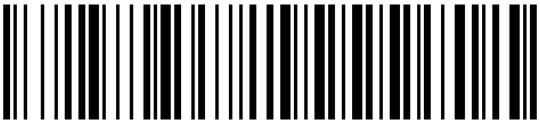


バッチスキャンモード（一部のカスタム機種のみ）

デコードタイムアウト

このパラメータでは、1 回のスキャン試行でデコード処理を継続する最大時間を設定します。4 桁のミリ秒値を入力します。既定値：3000 ms、範囲：0500～9999 ms。

3 秒（既定）



6 秒

インターバル時間

このパラメータでは、連続モードにおける読み取り間隔を設定します。4 桁のミリ秒値を入力します。既定値：0500 ms、範囲：0100～9999 ms。

0.5 秒（既定）

1 秒

11 読取モジュール設定

11.1 トリガー設定

読取モード

一般的な読み取りモード

キーホールド

キーホールドモードに設定し、キーを押すと読み取りが開始され、キーを放すと読み取りが終了します。読み取りに成功するか、読み取り時間が 1 回の読み取り時間を超えると、読み取りは終了します。

キーホールド

シングルボタントリガー

シングルボタントリガーモードに設定します。ボタンを押して読み取りを開始します。ボタンを放しても読み取りは停止しません。読み取りが成功した場合、または読み取りが 1 回の読み取り時間を超えた場合、読み取りは停止します。

シングルボタントリガー

連続モード

設定完了後はトリガーする必要はありません。読取モジュールはすぐにコードの読み取りを開始します。読み取りが成功して情報が出力されるか、1 回の読み取り時間が経過すると、読み取り間隔がタイムアウトした後、次の読み取り間隔が自動的に開始されます。

連続モード

オートセンシングモード

自動検知モードでは、読取モジュールが周囲の環境の明るさを検出します。明るさが変化すると、読み取りがトリガーされます。読み取りが成功するか、読み取り時間が 1 回の読み取り時間を超えて終了します。前回の読み取りが成功したか失敗したかに関係なく、周囲の環境の明るさを検出するために再入力します。

オートセンシングモード

感度

感度とは、センサー読み取りモードでシーンの変化を検出する度合いを指します。読取モジュールは、シーンの変化の程度が要件を満たしていると判断すると、監視状態から読み取り状態に切り替わります。

* 高感度

中感度

低感度

手ぶれ補正持続時間の設定

画像安定時間とは、シーンの変化を検出する読取モジュールが、センサー読み取りモードでコードを読み取る前に画像が安定するまで待機する必要がある時間を指します。手ぶれ補正時間の設定範囲は 0〜65535ms、既定値は 300ms です。

「安定化持続時間」設定コードをスキャンします。

手ぶれ補正時間

「デジタル設定コード」をスキャンします。たとえば、継続時間が 100ms の場合、1、0、0 をスキャンします。期間が 1005ms の場合、1、0、0、5 をスキャンします

「OK」設定コードを読み取って設定を終了します

もちろん

手ぶれ補正時間を素早く設定

100ms	200ms
*300 ミリ秒	400ms
500ms	1000ms

コマンドトリガモード

コマンドを介して読取モジュールの読み取りをトリガーすることで、コマンドを介して読み取りをアクティブに終了できます。読み取りに成功するか、読み取り時間が 1 回の読み取り時間を超えると、読み取りは終了します。特定のトリガーコマンドについては、製品の説明書情報を参照してください。

> **注釈**
>
> トリガーおよび終了コマンドはどのモードでも有効です

特別な読み取りモード

画面高速モード

このモードは特殊用途向けであり、標準仕様の製品では使用できません。画面に表示されたバーコードを高速に読み取る用途を想定しています。使用する場合は、販売元にお問い合わせください。

高速コード読み取りモード

このモードは特殊用途向けであり、標準仕様の製品では使用できません。固定式読取モジュールや読取プラットフォームなどで、各種紙媒体上のバーコードを高速に読み取る用途を想定しています。使用する場合は、販売元にお問い合わせください。

1 回の読書時間

1 回のコード読み取りの継続時間とは、読み取りをトリガーして正常に読み取ることができなかった後に許可される最長の読み取り試行時間を指します。この時間を超えると、読み取り状態が終了します。単一コード読み取り時間の範囲は 0 ～65535 ミリ秒、既定値は 5000 ミリ秒です。

一回の読み取り時間の設定

「1 回読み取り時間」設定コードをスキャンします

1 回の読書時間

「デジタル設定コード」をスキャンします。たとえば、継続時間が 100ms の場合、1、0、0 をスキャンします。期間が 1005ms の場合、1、0、0、5 をスキャンします

「OK」設定コードを読み取って設定を終了します

もちろん

1 回の読み取り時間を素早く設定

0ms (無限時間)	1000ms
2000ms	3000ms
*5000 ミリ秒	10000ms

同一コード遅延

連続モードおよび自動検知モードで同じバーコードが繰り返し読み取られるのを防ぐため、設定した遅延時間が経過するまで同じバーコードの読み取りを拒否できます。同一コード遅延とは、バーコードを読み取った後、設定時間内は同じバーコードを読み取らない機能です。設定時間の経過後に、再度読み取って出力できます。範囲：0〜65535 ms、既定値：0 ms。

同一コード読み取り間隔設定

「同一コード時間間隔」設定コードをスキャン

同一コード遅延

「デジタル設定コード」をスキャンします。たとえば、間隔が 100ms の場合、1、0、0 をスキャンします。間隔が 1005ms の場合、1、0、0、5 をスキャンします

「OK」設定コードを読み取って設定を終了します

もちろん

同一コード遅延のクイック設定

* 0 ミリ秒

100ms

300ms

500ms

1000ms

3000ms

5000ms

10000ms

無限の遅延 (同じコードを読み取らない)

読み取り間隔時間

連続モードでの 2 つの読み取り間の間隔。最後の読み取りが成功したか失敗したかに関係なく、この時間が経過すると自動的に次の読み取りに入ります。この設定は主に連続モードに適用されます

既定値：500ms、範囲: 0 〜65535ms

読み取り間隔の設定

「読み取り間隔時間」設定コードを読み取ります。

読み取り間隔時間

「デジタル設定コード」をスキャンします。たとえば、間隔が 100ms の場合、1、0、0 をスキャンします。間隔が 1005ms の場合、1、0、0、5 をスキャンします

「OK」設定コードを読み取って設定を終了します

もちろん

読み取り間隔時間を素早く設定

0ms	*500 ミリ秒
1000ms	2000ms
5000ms	10000ms

11.2 エンジン Code ID

バーコード ID

AIM ID

AIM は Automatic Identification Manufacturers（自動識別製造者協会）の略称です。AIM ID は、さまざまな標準バーコードの識別コードを定義します (ユーザーは AIM ID をカスタマイズできません)。特定の定義については、付録 C: AIM ID リストを参照してください。読取モジュールは、デコード後のバーコードデータの前にこの識別コードを追加できます。形式は「]」+ 文字「C」+ 数字「0」です。たとえば、Code 128 の AIM ID は「]C0」です。ユーザーは、AIM ID を通じてさまざまなバーコードタイプを識別できます。

* 無効にする

有効にする

Code ID

ユーザーは、Code ID を通じてさまざまなバーコードタイプを識別でき、Code ID は識別に 1 文字を使用します。具体的な定義については、付録 B を参照してください: Code ID リスト

* 無効にする

有効にする

Code ID

コード文字	バーコードタイプ
C	Code 128/UCC/EAN-128/GS1-128
F	Code 39/Code 32
J	Code 11
B	Codabar
K	Code 93
E	EAN-13/EAN-8/ISBN/ISSN
U	UPC-A/UPC-E
I	ITF25
D	IND25
S	STD25
M	MATRIX25
N	NEC25/COOP25
P	MSI Plessey
T	TELEPEN
A	Pharmacode One-Track
W	TRIOPTIC
H	HONG KONG 2 of 5/CHINA POST
R	GS1 DataBar/RSS
q	QR Code/Micro QR

次のページに続く

表 2 – 前のページからの続き

コード文字	バーコードタイプ
p	PDF417/MicroPDF417
d	Data Matrix (DM)
a	Aztec Code
h	Han Xin
m	MaxiCode
t	DotCode
g	GM
o	OCR
k	Codablock A
f	Codablock F
n	郵便番号
V	Korea Post

AIM ID

バーコードタイプ	AIM ID	説明する
Code 128/UCC/EAN-128/ GS1-128	]Cm	0,1,2,4
Code 39	] 午前	0,1,3,4,5,7
Code 32	]X0	
Code 11	] うーん	0,1,3
Codabar	]FM	0-1
Code 93	] ぐむ	0-9,A-Z,a-m
EAN-13	]E0	
EAN-8	]E4	
ISSN		
ISBN	]E0	
UPC-A	]E0	
UPC-E	]E0	
UPC-E1	]E1	
ITF25	] 私は	0,1,3
IND25	]S0	
STD25	］うーん	0,1,3
MATRIX25	]X0	
NEC25/COOP25	]X0	
MSI Plessey	] うーん	0,1
TELEPEN	]Bm	
Pharmacode One-Track		
TRIOPTIC		
QR Code	]Qm	0-6
Micro QR	]Qm	
PDF417	］うーん	0-2
MicroPDF417	］うーん	3,4,5
Data Matrix (DM)	]dm	0-6
Aztec Code	］zm	0-9,A-C
Han Xin	]X0	

次のページに続く

表 3 – 前のページからの続き

バーコードタイプ	AIM ID	説明する
MaxiCode	] えーっと	0-3
DotCode	]X0	
GM	]X0	
Codablock A	]O6	0,1,4,5,6
Codablock F	] ああ	0,1,4,5,6
GS1 DataBar/RSS	]e0	
Korea Post	]X0	

11.3 エンジン出力フォーマット

終端文字

ホストが現在の読み取り結果を素早く区別できるように、エンドキャラクタ機能を有効にすることができ、読取モジュールはデータの出力後に対応するエンドキャラクタを追加します。

無効にする

キャリッジリターンとラインフィード

* 入力

タブ

入力してください

改行と復帰

改行 (\n) と復帰改行 (\r\n) は両方とも復帰 (\r) に変換されます。

* 無効にする

有効にする

URL の有効/無効

商品のバーコード読み取り時や特殊なアプリケーションにおいて、URL 情報付きバーコードの誤読を防止するため、必要に応じて URL 情報付きバーコードの認識を無効にすることができます。

* URL コードを有効にする

URL コードを無効にする

請求書発行機能

このモジュールを請求書発行システムで正常に使用するために、ユーザーは以下の設定コードをスキャンすることで請求書コード形式を変換して出力することができます。

注釈

この機能は Alipay QR コード請求をサポートしていますが、WeChat QR コード請求はサポートしていません。

請求機能の有効/無効

* 無効にする

有効にする

請求書の種類

* 特別チケット

人気投票

GS1 ルールが有効になりました

GS1 ルールを有効にし、AI セグメントをかっこで囲みます。

* 無効にする

有効にする

11.4 バーコード設定

バーコードのグローバル操作

グローバルの有効/無効

無効にする

有効にする

* 既定

1D バーコードグローバルの有効/無効

無効にする

有効にする

* 既定

QR コードグローバルの有効/無効

無効にする

有効にする

* 既定

バーコードのセキュリティレベル

極端な状況下でのバーコード読み取りで起こり得るコードエラーの問題を解決するために、ここでは 5 つのセキュリティレベルが提供されています。レベルが高くなるほど、読書体験は悪化します。

レベル 0

* レベル 1

レベル 2

レベル 3

レベル 4

マルチコード識別

特殊なアプリケーションシナリオでは、複数のバーコードを同時に読み取る必要があります。以下の設定コードを読み取ることで、マルチコード読み取りの有効/無効を切り替えます。

複数のコードを読み取る必要がある

* 無効にする

有効にする

複数のコードを読み取る

*1	2
3	4
5	6

グローバル反転カラーの有効/無効

以下の設定コードを読み取ることで、バーコード反転読み取りの有効/無効を切り替えます。

注釈

グローバル反転カラースイッチは、読み取り機器のパフォーマンスに大きな影響を与えます。一般的に使用されるバーコードには、個別の反転カラースイッチがあります。個別にオンにすることをお勧めします。

* 無効にする	有効にする

部分的なカラー反転の有効/無効

Code 128 逆色の有効/無効

Code 128 バーコードの反転読取を有効または無効にするには、次の設定コードを読み取ります。この設定は GS1-128 にも有効です

* 無効にする

有効にする

EAN/UPC 色反転の有効/無効

以下の設定コードを読み取ることで、EAN/UPC バーコードの反転読取を有効 / 無効にできます。

* 無効にする

有効にする

ITF25 反転カラーの有効/無効

以下の設定コードを読み取ると、ITF25 バーコードの反転読取を有効/無効にできます。

* 無効にする

有効にする

Code 39 逆色の有効/無効

Code 39 バーコードの反転読取を有効または無効にするには、次の設定コードを読み取ります。

* 無効にする

有効にする

Codabar 反転カラーの有効/無効

Codabar バーコードの反転読取を有効または無効にするには、次の設定コードを読み取ります。

* 無効にする

有効にする

Code 93 逆色の有効/無効

以下の設定コードを読み取って、Code 93 バーコードの反転読取を有効または無効にします。

* 無効にする

有効にする

Code 128

Code 128 の有効/無効

以下の設定コードを読み取って、Code 128 バーコードの読み取りを有効/無効にします。

無効にする

* 有効にする

Code 128 最小長

この設定には 2 つの方法があります。方法 1 では、ユーザーが QR コードを生成します。多数の項目を設定する場合に適し、柔軟に設定できます。方法 2 では、本書の手順に従って設定コードを読み取ります。

方法 1:

Code 128 設定コードの内容の最小長の形式: >!000012XX. XX は 0 ～255 の 10 進数の設定変数です。

例: Code 128、最小長が 2 に設定されている場合、設定コードの内容は次のようになります: >!0000122.

例: Code 128、最小長が 12 に設定されている場合、設定コードの内容は次のようになります: >!00001212.

方法 2:

「Code 128 最小長」設定コードをスキャンします。

Code 128 最小長

「デジタル設定コード」をスキャンします。たとえば、最小長が 2 桁の場合は 2 をスキャンします。最小長が 12 桁の場合は、1、2 をスキャンします

「OK」設定コードを読み取って設定を終了します

もちろん

Code 128 最大長

この設定には 2 つの方法があります。方法 1 では、ユーザーが QR コードを生成します。多数の項目を設定する場合に適し、柔軟に設定できます。方法 2 では、本書の手順に従って設定コードを読み取ります。

方法 1:

Code 128 設定コードの内容の最大長の形式: >!000013XX. XX は設定変数で、10 進数の範囲は 0 〜255 です。

例: Code 128 最大長が 9 に設定されている場合、設定コードの内容は次のようになります: >!0000139.

例: Code 128 最大長が 20 に設定されている場合、設定コードの内容は次のようになります: >!00001320.

方法 2:

「Code 128 最大長」設定コードをスキャンします。

Code 128 最大長

「デジタル設定コード」をスキャンします。たとえば、最大長が 9 桁の場合は 9 をスキャンします。最大長が 20 桁の場合、2,0 をスキャンします

「OK」設定コードを読み取って設定を終了します

もちろん

Code 128 セキュリティレベル

バーコードのセキュリティレベルが高いほどエラー率は低くなり、コード読み取り効果にもある程度の影響が出ます。

* 低い

真ん中

高い

UCC/EAN-128/GS1-128

GS1 128 の有効/無効

以下の設定コードを読み取って、GS1 128 バーコードの読み取りを有効/無効にします。

無効にする

* 有効にする

GS1 最小長 128

この設定には 2 つの方法があります。方法 1 では、ユーザーが QR コードを生成します。多数の項目を設定する場合に適し、柔軟に設定できます。方法 2 では、本書の手順に従って設定コードを読み取ります。

方法 1:

GS1 128 最小長設定コードの内容形式: >!000022XX. XX は設定変数で、10 進数の範囲は 0 ～ 255 です。

例: GS1 128 の最小長が 2 に設定されている場合、設定コードの内容は次のようになります: >!0000222.

例: GS1 128 の最小長が 12 に設定されている場合、設定コードの内容は次のようになります: >!00002212.

方法 2:

「GS1 128 最小長」設定コードをスキャンします。

GS1 最小長 128

「デジタル設定コード」をスキャンします。たとえば、最小長が 2 桁の場合は 2 をスキャンします。最小長が 12 桁の場合は、1、2 をスキャンします

「OK」設定コードを読み取って設定を終了します

もちろん

GS1 最大長 128

この設定には 2 つの方法があります。方法 1 では、ユーザーが QR コードを生成します。多数の項目を設定する場合に適し、柔軟に設定できます。方法 2 では、本書の手順に従って設定コードを読み取ります。

方法 1:

GS1 128 設定コードの内容の最大長の形式: >!000023XX. XX は設定変数で、10 進数の範囲は 0 ～255 です。

例: GS1 128 の最大長が 9 に設定されている場合、設定コードの内容は次のようになります: >!0000239.

例: GS1 128 の最大長が 20 に設定されている場合、設定コードの内容は次のようになります: >!00002320.

方法 2:

「GS1 128 最大長」設定コードをスキャンします

GS1 最大長 128

「デジタル設定コード」をスキャンします。たとえば、最大長が 9 桁の場合は 9 をスキャンします。最大長が 20 桁の場合、2,0 をスキャンします

「OK」設定コードを読み取って設定を終了します

もちろん

EAN-8

EAN-8 の有効/無効

以下の設定コードを読み取って、EAN-8 バーコードの読み取りを有効/無効にします。

無効にする

* 有効にする

EAN-8 チェックデジットの送信

以下の設定コードを読み取って、EAN-8 がチェックデジットを送信するかどうかを設定します。

無効にする

* 有効にする

EAN-8 2 桁の追加コードを読み取ります

以下の設定コードを読み取って、EAN-8 が 2 桁の追加コードを読み取れるかどうかを設定します。

* 無効にする

有効にする

EAN-8 5 桁の追加コードを読み取ります

以下の設定コードを読み取って、EAN-8 が 5 桁の追加コードを読み取れるかどうかを設定します。

* 無効にする

有効にする

追加コード EAN-8 による読み取り専用

追加コードで EAN-8 のみを読み取るかどうかを設定するには、次の設定コードを読み取ります

* 無効にする

有効にする

EAN-13

EAN-13 の有効/無効

以下の設定コードを読み取って、EAN-13 バーコードの読み取りを有効/無効にします。

無効にする

* 有効にする

EAN-13 チェックデジットの送信

以下の設定コードを読み取って、EAN-13 がチェックデジットを送信するかどうかを設定します。

無効にする

* 有効にする

EAN-13 2 桁の追加コードを読み取ります

以下の設定コードを読み取って、EAN-13 が 2 桁の追加コードを読み取れるかどうかを設定します。

* 無効にする

有効にする

EAN-13 5 桁の追加コードを読み取ります

以下の設定コードを読み取って、EAN-13 が 5 桁の追加コードを読み取れるかどうかを設定します。

* 無効にする

有効にする

追加コード EAN-13 による読み取り専用

以下の設定コードを読み込み、追加コードで EAN-13 のみを読み込むかどうかを設定します。

* 無効にする

有効にする

ISSN

以下の設定コードを読み取って、ISSN バーコードの読み取りを有効または無効にします。

注釈

ISSN を無効にすると、ISSN は EAN-13 として扱われます

* 無効にする

有効にする

ISBN

以下の設定コードを読み取って、ISBN バーコードの読み取りを有効または無効にします。

注釈

ISBN を無効にすると、ISBN は EAN-13 として扱われます。

* 無効にする

有効にする

UPC-E

UPC-E の有効/無効

以下の設定コードを読み取って、UPC-E バーコードの読み取りを有効/無効にします。

無効にする

* 有効にする

UPC-E チェックデジットの送信

以下の設定コードを読み取って、UPC-E がチェックデジットを送信するかどうかを設定します。

無効にする	* 有効にする

UPC-E 2 桁の追加コードを読み取ります

以下の設定コードを読み取って、UPC-E が 2 桁の追加コードを読み取れるかどうかを設定します。

* 無効にする	有効にする

UPC-E 5 桁の追加コードを読み取ります

以下の設定コードを読み取って、UPC-E が 5 桁の追加コードを読み取れるかどうかを設定します。

* 無効にする	有効にする

追加コード UPC-E による読み取り専用

以下の設定コードを読み取って、追加コード UPC-E のみを読み込むかどうかを設定します。

* 無効にする	有効にする

伝送方式キャラクタ「0」

以下の設定コードを読み取って、UPC-E がシステムキャラクタ「0」を送信するかどうかを設定します。

無効にする	* 有効にする

UPC-E から UPC-A

以下の設定コードを読み取って、UPC-E を UPC-A に変換するかどうかを設定します。

* 無効にする	有効にする

UPC-E1 の有効/無効

以下の設定コードを読み取って、UPC-E1 を読み込むかどうかを設定します。

* 無効にする

有効にする

国文字「0」を送信

UPC-E が各国文字「0」を送信するかどうかを設定するには、以下の設定コードを読み取ります。

* 無効にする

有効にする

UPC-A

UPC-A の有効/無効

以下の設定コードを読み取って、UPC-A バーコードの読み取りを有効/無効にします。

無効にする

* 有効にする

UPC-A チェックデジットの送信

以下の設定コードを読み取って、UPC-A がチェックデジットを送信するかどうかを設定します。

無効にする

* 有効にする

UPC-A 2 桁の追加コードを読み取ります

以下の設定コードを読み取って、UPC-A が 2 桁の追加コードを読み取れるかどうかを設定します。

* 無効にする

有効にする

UPC-A 5 桁の追加コードを読み取ります

以下の設定コードを読み取って、UPC-A が 5 桁の追加コードを読み取れるかどうかを設定します。

* 無効にする

有効にする

追加コード UPC-A による読み取り専用

以下の設定コードを読み取って、追加コード UPC-A のみを読み込むかどうかを設定します。

* 無効にする

有効にする

伝送方式キャラクタ「0」

UPC-A がシステムキャラクタを送信するかどうかを設定するには、次の設定コードを読み取ります。

無効にする

* 有効にする

国文字「0」を送信

UPC-E が各国文字「0」を送信するかどうかを設定するには、以下の設定コードを読み取ります。(UPC-A を EAN-13 に変換するかどうかを設定します)

* 無効にする

有効にする

ITF25

ITF25 の有効/無効

以下の設定コードを読み取って、ITF25 バーコードの読み取りを有効/無効にします。

無効にする

* 有効にする

ITF25 チェックデジット検証

以下の設定コードを読み取って、ITF25 チェックデジットの検証を行うかどうかを設定します。

* 無効にする

有効にする

ITF25 チェックデジット送信

以下の設定コードを読み取って、ITF25 チェックデジットを送信するかどうかを設定します。

注釈

チェックデジットの送信を有効にするには、まずチェックデジット検証機能を有効にしてください。

* 無効にする

有効にする

ITF25 の最小長さ

この設定には 2 つの方法があります。方法 1 では、ユーザーが QR コードを生成します。多数の項目を設定する場合に適し、柔軟に設定できます。方法 2 では、本書の手順に従って設定コードを読み取ります。

方法 1:

ITF25 最小長設定コード内容形式: >!0000B3XX. XX は 0 〜255 の 10 進数の設定変数です。

たとえば、ITF25 の最小長が 2 に設定されている場合、設定コードの内容は >!0000B32. になります。

たとえば、ITF25 の最小長が 12 に設定されている場合、設定コードの内容は >!0000B312. になります。

方法 2:

「ITF25 最小長」設定コードをスキャンします。

ITF25 の最小長さ

「デジタル設定コード」をスキャンします。たとえば、最小長が 2 桁の場合は 2 をスキャンします。最小長が 12 桁の場合は、1、2 をスキャンします

「OK」設定コードを読み取って設定を終了します

もちろん

ITF25 最大長

この設定には 2 つの方法があります。方法 1 では、ユーザーが QR コードを生成します。多数の項目を設定する場合に適し、柔軟に設定できます。方法 2 では、本書の手順に従って設定コードを読み取ります。

方法 1:

ITF25 最大長設定コード内容形式: >!0000B4XX. XX は設定変数で、10 進数の範囲は 0 〜255 です。

たとえば、ITF25 の最大長が 9 に設定されている場合、設定コードの内容は >!0000B49. になります。

たとえば、ITF25 の最大長が 20 に設定されている場合、設定コードの内容は >!0000B420. となります。

方法 2:

「ITF25 最大長」設定コードをスキャンします。

ITF25 最大長

「デジタル設定コード」をスキャンします。たとえば、最大長が 9 桁の場合は 9 をスキャンします。最大長が 20 桁の場合、2,0 をスキャンします

「OK」設定コードを読み取って設定を終了します

もちろん

ブラジル政府/銀行コード

* 無効にする

有効にする

NEC25/COOP25

NEC25 の有効/無効

以下の設定コードを読み取って、NEC25 のバーコード読み取りを有効/無効にします。

* 無効にする

有効にする

NEC25 チェックデジット検証

以下の設定コードを読み取って、NEC25 チェックデジットの検証を行うかどうかを設定します。

* 無効にする

有効にする

NEC25 チェックデジット送信

以下の設定コードを読み取って、NEC25 チェックデジットを送信するかどうかを設定します。

注釈

チェックデジットの送信を有効にするには、まずチェックデジット検証機能を有効にしてください。

* 無効にする

有効にする

NEC25 最小長

この設定には 2 つの方法があります。方法 1 では、ユーザーが QR コードを生成します。多数の項目を設定する場合に適し、柔軟に設定できます。方法 2 では、本書の手順に従って設定コードを読み取ります。

方法 1:

NEC25 最小長設定コードの内容形式: >!000103XX. XX は 0 ～255 の 10 進数の設定変数です。

たとえば、NEC25 の最小長が 2 に設定されている場合、設定コードの内容は >!0001032. になります。

たとえば、NEC25 の最小長が 12 に設定されている場合、設定コードの内容は >!00010312. になります。

方法 2:

「NEC25 最小長」設定コードをスキャンします。

NEC25 最小長

「デジタル設定コード」をスキャンします。たとえば、最小長が 2 桁の場合は 2 をスキャンします。最小長が 12 桁の場合は、1、2 をスキャンします

「OK」設定コードを読み取って設定を終了します

もちろん

NEC25 最大長

この設定には 2 つの方法があります。方法 1 では、ユーザーが QR コードを生成します。多数の項目を設定する場合に適し、柔軟に設定できます。方法 2 では、本書の手順に従って設定コードを読み取ります。

方法 1:

NEC25 の最大長設定コードの内容形式: >!000104XX. XX は 0 ～255 の 10 進数の設定変数です。

例: NEC25 の最大長が 9 に設定されている場合、設定コードの内容は >!0001049. となります。

例: NEC25 の最大長が 20 に設定されている場合、設定コードの内容は >!00010420. となります。

方法 2:

「NEC25 最大長」設定コードをスキャンします。

NEC25 最大長

「デジタル設定コード」をスキャンします。たとえば、最大長が 9 桁の場合は 9 をスキャンします。最大長が 20 桁の場合、2,0 をスキャンします

「OK」設定コードを読み取って設定を終了します

もちろん

MATRIX25

Matrix 2 of 5 の有効/無効

MATRIX25 のバーコード読み取りを有効/無効にするには、以下の設定コードを読み取ります。

* 無効にする	有効にする

MATRIX25 チェックデジットの検証

以下の設定コードを読み取って、MATRIX25 のチェックデジットを検証するかどうかを設定します。

* 無効にする

有効にする

MATRIX25 チェックデジット送信

以下の設定コードを読み取って、MATRIX25 チェックデジットを送信するかどうかを設定します。

注釈

チェックデジットの送信を有効にするには、まずチェックデジット検証機能を有効にしてください。

* 無効にする

有効にする

MATRIX25 の最小長

この設定には 2 つの方法があります。方法 1 では、ユーザーが QR コードを生成します。多数の項目を設定する場合に適し、柔軟に設定できます。方法 2 では、本書の手順に従って設定コードを読み取ります。

方法 1:

MATRIX25 最小長設定コードの内容形式: >!000113XX. XX は設定変数で、10 進数の範囲は 0 ～255 です。

たとえば、MATRIX25 の最小長が 2 に設定されている場合、設定コードの内容は >!0001132. になります。

たとえば、MATRIX25 の最小長が 12 に設定されている場合、設定コードの内容は >!00011312. となります。

方法 2:

「MATRIX25 最小長」設定コードをスキャンします。

MATRIX25 の最小長

「デジタル設定コード」をスキャンします。たとえば、最小長が 2 桁の場合は 2 をスキャンします。最小長が 12 桁の場合は、1、2 をスキャンします

「OK」設定コードを読み取って設定を終了します

もちろん

MATRIX25 の最大長

この設定には 2 つの方法があります。方法 1 では、ユーザーが QR コードを生成します。多数の項目を設定する場合に適し、柔軟に設定できます。方法 2 では、本書の手順に従って設定コードを読み取ります。

方法 1:

MATRIX25 の最大長設定コードの内容形式: >!000114XX. XX は設定変数で、10 進数の範囲は 0 〜255 です。

たとえば、MATRIX25 の最大長が 9 に設定されている場合、設定コードの内容は >!0001149. となります。

たとえば、MATRIX25 の最大長が 20 に設定されている場合、設定コードの内容は >!00011420. となります。

方法 2:

「MATRIX25 最大長」設定コードをスキャンします。

MATRIX25 の最大長

「デジタル設定コード」をスキャンします。たとえば、最大長が 9 桁の場合は 9 をスキャンします。最大長が 20 桁の場合、2,0 をスキャンします

「OK」設定コードを読み取って設定を終了します

もちろん

IND25

IND25 の有効/無効

以下の設定コードを読み取ることで、IND25 バーコードの読み取りを有効/無効にできます。

* 無効にする

有効にする

IND25 の最小長さ

この設定には 2 つの方法があります。方法 1 では、ユーザーが QR コードを生成します。多数の項目を設定する場合に適し、柔軟に設定できます。方法 2 では、本書の手順に従って設定コードを読み取ります。

方法 1:

IND25 最小長設定コードの内容形式: >!000123XX. XX は 0 ～255 の 10 進数の設定変数です。

たとえば、IND25 の最小長が 2 に設定されている場合、設定コードの内容は >!0001232. になります。

たとえば、IND25 の最小長が 12 に設定されている場合、設定コードの内容は >!00012312. になります。

方法 2:

「IND25 最小長」設定コードをスキャンします。

IND25 の最小長さ

「デジタル設定コード」をスキャンします。たとえば、最小長が 2 桁の場合は 2 をスキャンします。最小長が 12 桁の場合は、1、2 をスキャンします

「OK」設定コードを読み取って設定を終了します

もちろん

IND25 の最大長

この設定には 2 つの方法があります。方法 1 では、ユーザーが QR コードを生成します。多数の項目を設定する場合に適し、柔軟に設定できます。方法 2 では、本書の手順に従って設定コードを読み取ります。

方法 1:

IND25 最大長設定コード内容形式: >!000124XX. XX は設定変数で、10 進数の範囲は 0 ～ 255 です。

たとえば、IND25 の最大長が 9 に設定されている場合、設定コードの内容は >!0001249. となります。

たとえば、IND25 の最大長が 20 に設定されている場合、設定コードの内容は >!00012420. となります。

方法 2:

「IND25 最大長」設定コードをスキャンします。

IND25 の最大長

「デジタル設定コード」をスキャンします。たとえば、最大長が 9 桁の場合は 9 をスキャンします。最大長が 20 桁の場合、2,0 をスキャンします

「OK」設定コードを読み取って設定を終了します

もちろん

STD25

STD25 の有効/無効

STD25 バーコード読み取りを有効/無効にするには、以下の設定コードを読み取ります。

* 無効にする	有効にする

STD25 最小長さ

この設定には 2 つの方法があります。方法 1 では、ユーザーが QR コードを生成します。多数の項目を設定する場合に適し、柔軟に設定できます。方法 2 では、本書の手順に従って設定コードを読み取ります。

方法 1:

STD25 最小長設定コード内容形式：>!000133XX. XX は 0 ～255 の 10 進数の設定変数です。

例: STD25 の最小長が 2 に設定されている場合、設定コードの内容は >!0001332. となります。

例: STD25 の最小長が 12 に設定されている場合、設定コードの内容は >!00013312. となります。

方法 2:

「STD25 最小長」設定コードをスキャンします。

STD25 最小長さ

「デジタル設定コード」をスキャンします。たとえば、最小長が 2 桁の場合は 2 をスキャンします。最小長が 12 桁の場合は、1、2 をスキャンします

「OK」設定コードを読み取って設定を終了します

もちろん

STD25 最大長

この設定には 2 つの方法があります。方法 1 では、ユーザーが QR コードを生成します。多数の項目を設定する場合に適し、柔軟に設定できます。方法 2 では、本書の手順に従って設定コードを読み取ります。

方法 1:

STD25 最大長設定コード内容形式：>!000134XX. XX は 0 〜255 の 10 進数の設定変数です。

例：STD25 の最大長が 9 に設定されている場合、設定コードの内容は >!0001349. となります。

例：STD25 の最大長が 20 に設定されている場合、設定コードの内容は >!00013420. となります。

方法 2:

「STD25 最大長」設定コードをスキャンします。

STD25 最大長

「デジタル設定コード」をスキャンします。たとえば、最大長が 9 桁の場合は 9 をスキャンします。最大長が 20 桁の場合、2,0 をスキャンします

「OK」設定コードを読み取って設定を終了します

もちろん

Code 39

Code 39 の有効/無効

以下の設定コードを読み取って、Code 39 バーコードの読み取りを有効/無効にします。

無効にする

* 有効にする

Code 39 チェックデジットの検証

以下の設定コードを読み取って、Code 39 チェックデジットを検証するかどうかを設定します。

* 無効にする

有効にする

Code 39 チェックデジットの送信

以下の設定コードを読み取って、Code 39 チェックデジットを送信するかどうかを設定します。

注釈

チェックデジットの送信を有効にするには、まずチェックデジット検証機能を有効にしてください。

* 無効にする

有効にする

Code 39 スタートキャラクタ/エンドキャラクタの送信

以下の設定コードを読み取って、Code 39 開始キャラクタ/終了キャラクタを送信するかどうかを設定します。

* 無効にする

有効にする

Code 39 フル ASCII の有効/無効

以下の設定コードを読み取って、Code 39 FULL ASCII バーコードの読み取りを有効または無効にします。

* 無効にする

有効にする

Code 39 最小長

この設定には 2 つの方法があります。方法 1 では、ユーザーが QR コードを生成します。多数の項目を設定する場合に適し、柔軟に設定できます。方法 2 では、本書の手順に従って設定コードを読み取ります。

方法 1:

Code 39 設定コード内容の最小長の形式: >!000145XX. XX は 0 〜255 の 10 進数の設定変数です。

例: Code 39、最小長が 2 に設定されている場合、設定コードの内容は次のようになります: >!0001452.

例: Code 39、最小長が 12 に設定されている場合、設定コードの内容は次のようになります: >!00014512.

方法 2:

「Code 39 最小長」設定コードをスキャンします。

Code 39 最小長

「デジタル設定コード」をスキャンします。たとえば、最小長が 2 桁の場合は 2 をスキャンします。最小長が 12 桁の場合は、1、2 をスキャンします

「OK」設定コードを読み取って設定を終了します

もちろん

Code 39 最大長

この設定には 2 つの方法があります。方法 1 では、ユーザーが QR コードを生成します。多数の項目を設定する場合に適し、柔軟に設定できます。方法 2 では、本書の手順に従って設定コードを読み取ります。

方法 1:

Code 39 設定コードの内容の最大長の形式: >!000146XX. XX は 0 〜255 の 10 進数の設定変数です。

例: Code 39 最大長が 9 に設定されている場合、設定コードの内容は次のようになります: >!0001469.

例: Code 39 最大長が 20 に設定されている場合、設定コードの内容は次のようになります: >!00014620.

方法 2:

「Code 39 最大長」設定コードをスキャンします。

Code 39 最大長

「デジタル設定コード」をスキャンします。たとえば、最大長が 9 桁の場合は 9 をスキャンします。最大長が 20 桁の場合、2,0 をスキャンします

「OK」設定コードを読み取って設定を終了します

もちろん

Code 32 の有効/無効

次の設定コードを読み取って、Code 39 の有効/無効を Code 32 設定に変換します。

* 無効にする

有効にする

Code 32 プレフィックス

以下の設定コードを読み取って、Code 32 プレフィックスを送信するかどうかを設定します。

* 無効にする

有効にする

Code 32 チェックデジットの検証

以下の設定コードを読み取って、Code 32 チェックデジットを検証するかどうかを設定します。

* 無効にする

有効にする

Code 32 チェックデジットの送信

以下の設定コードを読み取って、Code 32 チェックデジットを送信するかどうかを設定します。

注釈

チェックデジットの送信を有効にするには、まずチェックデジット検証機能を有効にしてください。

* 無効にする

有効にする

Codabar

Codabar の有効/無効

以下の設定コードを読み取って、Codabar バーコードの読み取りを有効または無効にします。

* 無効にする

有効にする

Codabar チェックデジットの検証

以下の設定コードを読み取って、Codabar チェックデジットの検証を行うかどうかを設定します。

* 無効にする

有効にする

Codabar チェックデジットの送信

以下の設定コードを読み取って、Codabar チェックデジットを送信するかどうかを設定します。

注釈

チェックデジットの送信を有効にするには、まずチェックデジット検証機能を有効にしてください。

* 無効にする

有効にする

Codabar スタートキャラクタ/エンドキャラクタ送信

以下の設定コードを読み取って、Codabar のスタートキャラクタ/エンドキャラクタを送信するかどうかを設定します。

無効にする

* 有効にする

Codabar の開始文字/終了文字の形式

以下の設定コードを読み取って、Codabar の開始文字/終了文字の形式を設定します。

* 通常の ABCD 形式

ABCD/TN*E 形式

Codabar の開始文字/終了文字の大文字と小文字の区別

以下の設定コードを読み取って、Codabar の開始文字/終了文字を大文字にするか小文字にするかを設定します。

* 大文字	小文字

Codabar の最小長

この設定には 2 つの方法があります。方法 1 では、ユーザーが QR コードを生成します。多数の項目を設定する場合に適し、柔軟に設定できます。方法 2 では、本書の手順に従って設定コードを読み取ります。

方法 1:

Codabar の最小長設定コードの内容形式: >!000156XX. XX は設定変数で、10 進数の範囲は 0 ～255 です。

たとえば、Codabar の最小長が 2 に設定されている場合、設定コードの内容は >!0001562. になります。

たとえば、Codabar の最小長が 12 に設定されている場合、設定コードの内容は >!00015612. になります。

方法 2:

「Codabar Minimum Length」設定コードをスキャンします。

Codabar の最小長

「デジタル設定コード」をスキャンします。たとえば、最小長が 2 桁の場合は 2 をスキャンします。最小長が 12 桁の場合は、1、2 をスキャンします

「OK」設定コードを読み取って設定を終了します

もちろん

Codabar の最大長

この設定には 2 つの方法があります。方法 1 では、ユーザーが QR コードを生成します。多数の項目を設定する場合に適し、柔軟に設定できます。方法 2 では、本書の手順に従って設定コードを読み取ります。

方法 1:

Codabar 最大長設定コードの内容形式: >!000157XX. XX は設定変数で、10 進数の範囲は 0～255 です。

たとえば、Codabar の最大長が 9 に設定されている場合、設定コードの内容は >!0001579. になります。

たとえば、Codabar の最大長が 20 に設定されている場合、設定コードの内容は >!00015720. となります。

方法 2:

「Codabar 最大長」設定コードをスキャンします。

Codabar の最大長

「デジタル設定コード」をスキャンします。たとえば、最大長が 9 桁の場合は 9 をスキャンします。最大長が 20 桁の場合、2,0 をスキャンします

「OK」設定コードを読み取って設定を終了します

もちろん

Code 93

Code 93 の有効/無効

以下の設定コードを読み取って、Code 93 バーコードの読み取りを有効または無効にします。

無効にする	* 有効にする

Code 93 の最小長

この設定には 2 つの方法があります。方法 1 では、ユーザーが QR コードを生成します。多数の項目を設定する場合に適し、柔軟に設定できます。方法 2 では、本書の手順に従って設定コードを読み取ります。

方法 1:

Code 93 設定コードの内容の最小長の形式: >!000163XX. XX は設定変数で、10 進数の範囲は 0 ～255 です。

例: Code 93 の最小長が 2 に設定されている場合、設定コードの内容は次のようになります: >!0001632.

例: Code 93 の最小長が 12 に設定されている場合、設定コードの内容は次のようになります: >!00016312.

方法 2:

「Code 93 Minimum Length」設定コードをスキャンします。

Code 93 の最小長

「デジタル設定コード」をスキャンします。たとえば、最小長が 2 桁の場合は 2 をスキャンします。最小長が 12 桁の場合は、1、2 をスキャンします

「OK」設定コードを読み取って設定を終了します

もちろん

Code 93 の最大長

この設定には 2 つの方法があります。方法 1 では、ユーザーが QR コードを生成します。多数の項目を設定する場合に適し、柔軟に設定できます。方法 2 では、本書の手順に従って設定コードを読み取ります。

方法 1:

Code 93 の最大長設定コードの内容形式: >!000164XX. XX は設定変数で、10 進数の範囲は 0 ～255 です。

例: Code 93 の最大長が 9 に設定されている場合、設定コードの内容は次のようになります: >!0001649.

たとえば、Code 93 の最大長が 20 に設定されている場合、設定コードの内容は >!00016420. となります。

方法 2:

「Code 93 最大長」設定コードをスキャンします。

Code 93 の最大長

「デジタル設定コード」をスキャンします。たとえば、最大長が 9 桁の場合は 9 をスキャンします。最大長が 20 桁の場合、2,0 をスキャンします

「OK」設定コードを読み取って設定を終了します

もちろん

Code 11

Code 11 の有効/無効

以下の設定コードを読み取って、Code 11 バーコードの読み取りを有効または無効にします。

* 無効にする

有効にする

Code 11 チェックデジットの検証

以下の設定コードを読み取って、Code 11 のチェックデジットを検証するかどうかを設定します。

* 検証なし

1 ビットチェックサム

2 桁のチェックサム

Code 11 チェックデジットの送信

以下の設定コードを読み取って、Code 11 チェックデジットを送信するかどうかを設定します。

注釈

チェックデジットの送信を有効にするには、まずチェックデジット検証機能を有効にしてください。

* 無効にする

有効にする

Code 11 の最小長

この設定には 2 つの方法があります。方法 1 では、ユーザーが QR コードを生成します。多数の項目を設定する場合に適し、柔軟に設定できます。方法 2 では、本書の手順に従って設定コードを読み取ります。

方法 1:

Code 11 設定コードの内容の最小長の形式: >!000173XX. XX は 0 〜255 の 10 進数の設定変数です。

たとえば、Code 11 の最小長が 2 に設定されている場合、設定コードの内容は >!0001732. になります。

たとえば、Code 11 の最小長が 12 に設定されている場合、設定コードの内容は >!00017312. になります。

方法 2:

「Code 11 最小長」設定コードをスキャンします。

Code 11 の最小長

「デジタル設定コード」をスキャンします。たとえば、最小長が 2 桁の場合は 2 をスキャンします。最小長が 12 桁の場合は、1、2 をスキャンします

「OK」設定コードを読み取って設定を終了します

もちろん

Code 11 の最大長

この設定には 2 つの方法があります。方法 1 では、ユーザーが QR コードを生成します。多数の項目を設定する場合に適し、柔軟に設定できます。方法 2 では、本書の手順に従って設定コードを読み取ります。

方法 1:

Code 11 最大長設定コードの内容形式: >!000174XX. XX は 0 〜255 の 10 進数の設定変数です。

たとえば、Code 11 の最大長が 9 に設定されている場合、設定コードの内容は >!0001749. となります。

たとえば、Code 11 の最大長が 20 に設定されている場合、設定コードの内容は >!00017420. となります。

方法 2:

「Code 11 最大長」設定コードをスキャンします。

Code 11 の最大長

「デジタル設定コード」をスキャンします。たとえば、最大長が 9 桁の場合は 9 をスキャンします。最大長が 20 桁の場合、2,0 をスキャンします

「OK」設定コードを読み取って設定を終了します

もちろん

MSI Plessey

MSI Plessey の有効/無効

MSI Plessey バーコード読み取りを有効または無効にするには、次の設定コードを読み取ります。

* 無効にする

有効にする

MSI Plessey チェックデジット検証

以下の設定コードを読み取って、MSI Plessey チェックデジットを検証するかどうかを設定します。

* MOD10 単一文字チェック

MOD10/MOD10 二重文字チェック

MOD10/MOD11 二重文字チェック

MSI Plessey チェックデジット送信

MSI Plessey チェックデジットを送信するかどうかを設定するには、以下の設定コードを読み取ります。

注釈

チェックデジットの送信を有効にするには、まずチェックデジット検証機能を有効にしてください。

* 無効にする

有効にする

MSI Plessey の最小長

この設定には 2 つの方法があります。方法 1 では、ユーザーが QR コードを生成します。多数の項目を設定する場合に適し、柔軟に設定できます。方法 2 では、本書の手順に従って設定コードを読み取ります。

方法 1:

MSI Plessey の最小長設定コードの内容形式: >!000193XX. XX は設定変数で、10 進数の範囲は 0 ～255 です。

例: MSI Plessey の最小長が 2 に設定されている場合、設定コードの内容は次のようになります: >!0001932.

例: MSI Plessey の最小長が 12 に設定されている場合、設定コードの内容は次のようになります: >!00019312.

方法 2:

「MSI Plessey Minimum Length」設定コードをスキャンします。

MSI Plessey の最小長

「デジタル設定コード」をスキャンします。たとえば、最小長が 2 桁の場合は 2 をスキャンします。最小長が 12 桁の場合は、1、2 をスキャンします

「OK」設定コードを読み取って設定を終了します

もちろん

MSI Plessey の最大長

この設定には 2 つの方法があります。方法 1 では、ユーザーが QR コードを生成します。多数の項目を設定する場合に適し、柔軟に設定できます。方法 2 では、本書の手順に従って設定コードを読み取ります。

方法 1:

MSI Plessey の最大長設定コードの内容形式: >!000194XX. XX は設定変数で、10 進数の範囲は 0 〜255 です。

たとえば、MSI Plessey の最大長が 9 に設定されている場合、設定コードの内容は >!0001949. になります。

たとえば、MSI Plessey の最大長が 20 に設定されている場合、設定コードの内容は >!00019420. となります。

方法 2:

「MSI Plessey 最大長」設定コードをスキャンします。

MSI Plessey の最大長

「デジタル設定コード」をスキャンします。たとえば、最大長が 9 桁の場合は 9 をスキャンします。最大長が 20 桁の場合、2,0 をスキャンします

「OK」設定コードを読み取って設定を終了します

もちろん

GS1 DataBar/RSS

以下の設定コードを読み取って、GS1 DataBar バーコードの読み取りを有効または無効にします。

* 無効にする

有効にする

Composite Code

以下の設定コードを読み取って、複合コードバーコードの読み取りを有効/無効にします。

注釈

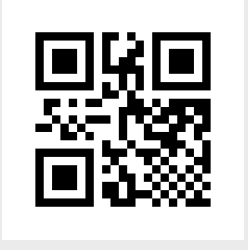
複合コードを有効にするには、まず別の対応するコードを有効にしてください。

* 無効にする

有効にする

TELEPEN

TELEPEN バーコード読み取りの有効 / 無効を設定するには、以下の設定コードを読み取ります。



* 無効にする

有効にする

TRIOPTIC

以下の設定コードを読み取って、TRIOPTIC バーコード読み取りを有効 / 無効にします。

* 無効にする

有効にする

HONG KONG 2 OF 5/CHINA POST

以下の設定コードを読み取って、HONG KONG 2 of 5 バーコードの読み取りを有効または無効にします。

* 無効にする

有効にする

韓国郵便/韓国郵便

以下の設定コードを読み取って、KOREA POST/Korea Post バーコードの読み取りを有効/無効にします。バーコードの長さは 6 バイトである必要があります。

* 無効にする

有効にする

韓国郵便チェックデジット送信

以下の設定コードを読み取って、KOREA POST チェックデジットを送信するかどうかを設定します。

* 無効にする

有効にする

韓国郵便のデータが逆転

* 無効にする

有効にする

PDF417

PDF417 の有効/無効

以下の設定コードを読み取って、PDF417 バーコードの読み取りを有効/無効にします。

無効にする

* 有効にする

PDF417 の通常/反転読取

以下の設定コードを読み取って、正逆 PDF417 コードを読み込めるかどうかを設定します。

* ポジティブカラーのみを読み取ります

読み取り専用反転カラー

ポジカラーでもネガカラーでも読み取り可能

QR Code

QR の有効/無効

以下の設定コードを読み取って、QR バーコードの読み取りを有効/無効にします。

無効にする

* 有効にする

QR Code ポジティブおよび反転読取

以下の設定コードを読み取って、正色/逆色 QR Code を読み込めるかどうかを設定します。

* ポジティブカラーのみを読み取ります

読み取り専用反転カラー

ポジカラーでもネガカラーでも読み取り可能

QR Code ミラー読み取り

次の設定コードを読んで、イメージ QR Code を読み取れるかどうかを設定します。

無効にする

* 有効にする

Data Matrix (DM)

Data Matrix の有効/無効

以下の設定コードを読み取って、Data Matrix バーコードの読み取りを有効/無効にします。

無効にする

* 有効にする

Data Matrix ポジティブおよび反転読取

以下の設定コードを読み取って、プラス/リバースカラーの Data Matrix コードを読み取れるかどうかを設定します。

* ポジティブカラーのみを読み取ります

読み取り専用反転カラー

ポジカラーでもネガカラーでも読み取り可能

Data Matrix ミラー読み取り

以下の設定コードを読み取って画像の Data Matrix コードを読み込めるかどうかを設定します

* 無効にする

有効にする

* 無効にする

有効にする

Aztec Code

AZTEC CODE バーコードの読み取りを有効/無効にするには、以下の設定コードを読み取ります。

* 無効にする

有効にする

11.5 読取モジュール設定コード

数字設定コード

付録には 0 ～9 の数字が含まれています。文字 A～F。キャンセル; 設定コードを確認します。

0

1

2

3

4

5

6

7

8

9

A

B

12 付録

12.1 文字検索テーブル

ASCII ファンクションキー文字比較表

00H-0FH

HEX	CODE	* 構成 0	Config3	Config1	Config4	Config2 Windows	Config5 Windows
00H	NUL	NUL	NUL	Ctrl+@	Ctrl+@	ALT+000	ALT+000
01H	SOH	NUL	NUL	Ctrl+A	Ctrl+A	ALT+001	ALT+001
02H	STX	NUL	NUL	Ctrl+B	Ctrl+B	ALT+002	ALT+002
03H	ETX	NUL	NUL	Ctrl+C	Ctrl+C	ALT+003	ALT+003
04H	EOT	NUL	NUL	Ctrl+D	Ctrl+D	ALT+004	ALT+004
05H	ENQ	NUL	NUL	Ctrl+E	Ctrl+E	ALT+005	ALT+005
06H	ACK	NUL	NUL	Ctrl+F	Ctrl+F	ALT+006	ALT+006
07H	BEL	NUL	NUL	Ctrl+G	Ctrl+G	ALT+007	ALT+007
08H	BS	Backspace	Backspace	Ctrl+H	Ctrl+H	ALT+008	ALT+008
09H	HT	TAB	TAB	TAB	Ctrl+I	ALT+009	ALT+009
0AH	LF	NUL	Enter	Ctrl+J	Ctrl+J	ALT+010	ALT+010
0BH	VT	TAB	TAB	Ctrl+K	Ctrl+K	ALT+011	ALT+011
0CH	FF	NUL	NUL	Ctrl+L	Ctrl+L	ALT+012	ALT+012
0DH	CR	Enter	Enter	Enter	Ctrl+M	Enter	ALT+013
0EH	SO	NUL	NUL	Ctrl+N	Ctrl+N	ALT+014	ALT+014
0FH	SI	NUL	NUL	Ctrl+O	Ctrl+O	ALT+015	ALT+015

10H-1FH

HEX	CODE	* 構成 0/3	Config1/4	Config2/5 Windows
10H	DLE	NUL	Ctrl+P	ALT+016
11H	DC1	NUL	Ctrl+Q	ALT+017
12H	DC2	NUL	Ctrl+R	ALT+018
13H	DC3	NUL	Ctrl+S	ALT+019
14H	DC4	NUL	Ctrl+T	ALT+020
15H	NAK	NUL	Ctrl+U	ALT+021
16H	SYN	NUL	Ctrl+V	ALT+022
17H	ETB	NUL	Ctrl+W	ALT+023
18H	CAN	NUL	Ctrl+X	ALT+024
19H	EM	NUL	Ctrl+Y	ALT+025
1AH	SUB	NUL	Ctrl+Z	ALT+026
1BH	ESC	ESC	Ctrl+[	ALT+027
1CH	FS	NUL	Ctrl+\	ALT+028
1DH	GS	NUL	Ctrl+]	ALT+029
1EH	RS	NUL	Ctrl+^	ALT+030
1FH	US	NUL	Ctrl+-	ALT+031

注釈

Mac システムでは、Ctrl キーは Command キーに対応します。

ASCII 文字比較表

20H-5FH

HEX	ASCII	HEX	ASCII	HEX	ASCII	HEX	ASCII
20H	Space	30H	0	40H	@	50H	P
21H	!	31H	1	41H	A	51H	Q
22H	"	32H	2	42H	B	52H	R
23H	#	33H	3	43H	C	53H	S
24H	$	34H	4	44H	D	54H	T
25H	%	35H	5	45H	E	55H	U
26H	&	36H	6	46H	F	56H	V
27H	'	37H	7	47H	G	57H	W
28H	(	38H	8	48H	H	58H	X
29H	)	39H	9	49H	I	59H	Y
2AH	*	3AH	:	4AH	J	5AH	Z
2BH	+	3BH	;	4BH	K	5BH	[
2CH	,	3CH	<	4CH	L	5CH	\
2DH	-	3DH	=	4DH	M	5DH	]
2EH	.	3EH	>	4EH	N	5EH	^
2FH	/	3FH	?	4FH	O	5FH	_

60H-9DH

HEX	ASCII	HEX	ASCII	HEX	Fun Key	HEX	Fun Key
60H	`	70H	p	80H	F1	90H	End
61H	a	71H	q	81H	F2	91H	Page Down
62H	b	72H	r	82H	F3	92H	Right Arrow
63H	c	73H	s	83H	F4	93H	Left Arrow
64H	d	74H	t	84H	F5	94H	Down Arrow
65H	e	75H	u	85H	F6	95H	Up Arrow
66H	f	76H	v	86H	F7	96H	Print Screen
67H	g	77H	w	87H	F8	97H	*Ctrl
68H	h	78H	x	88H	F9	98H	* シフト
69H	i	79H	y	89H	F10	99H	* 左 Alt
6AH	j	7AH	z	8AH	F11	9AH	* 右 Alt
6BH	k	7BH	{	8BH	F12	9BH	1s Delay
6CH	l	7CH	|	8CH	Insert	9CH	*Win-GUI
6DH	m	7DH	}	8DH	Home	9DH	* キーストローク
6EH	n	7EH	~	8EH	Page Up		
6FH	o	7FH	DEL	8FH	Delete		

注釈

Ctrl、Shift、Alt、GUI をプレフィックスまたはサフィックスとして設定すると、次の文字と組み合わせて出力されます (ALT、TH キーボードに設定した場合はサポートされません)。キーストローク後の文字がそのままキー値として出力されます。